



## 大館・鹿角・北秋田

会場：北秋田市民ふれあいプラザ コムコム

1F 多目的ホール 北秋田市花園町 10 番 5 号

日時：令和 2 年 10 月 19 日(月)

時間：13 : 00～15 : 30(受付 12 : 30～)

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願い致します。

## 水道事業 広域連携セミナー

### 1 部 セミナー

- ・「全国の水道事業広域連携の取り組み事例について」(13 : 05～13 : 35)  
株式会社日水コン 事業統括本部事業戦略部 部長 福原 勝氏
- ・「秋田県南地区に於ける広域連携への模索について」(13 : 40～14 : 10)  
横手市建設部都市計画課 係長 杉山 達範 氏
- ・「弊社が支援できることについて」(14 : 15～14 : 45)  
株式会社トータルオフィスマネージメント 専務取締役 平塚 広春  
休憩 (14 : 45～14 : 50)

### 2 部 座談会

- テーマ 1 (14 : 50～15 : 30)  
「経営部門における広域連携について」 (座長) 平塚
- テーマ 2 (14 : 50～15 : 30)  
「技術部門における広域連携について」 (座長) 杉山氏  
おわりのごあいさつ 株式会社トータルオフィスマネージメント 平塚

新型コロナウイルス感染防止のため、当日は着席 2m 以上の間隔、入室、退室時でのアルコール消毒などの感染予防対策を実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

◇当セミナーに関するお問い合わせは

北秋田市水道お客様センター 0186-67-6052 平塚まで



## ご挨拶

厚生労働省は改正水道法に基づく広域連携の取組の推進について都道府県の責務（改正水道法第2条の2）、水道基盤強化計画（改正水道法第5条の3）、広域的連携等推進協議会（改正水道法第5条の4）の設置等を含め、全国の都道府県に対し2022年度末までに水道広域化推進プランの策定を要請したところですが、（平成31年1月25日付け総務省自治財政局長、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官連名通知）これらに基づき、各水道事業者様に置かれましては水道施設台帳の整備、アセットマネジメントの実施、これらに係る収支見通しの作成、経営計画、料金改定のシミュレーション、施設の計画的な更新計画等、水道事業の基盤強化に向けた取組をすでに鋭意実施していることと存じます。

そのような中で、水道基盤強化計画に基づく広域連携の推進に向け、弊社は料金徴収業務受託（県内6市）、料金システム納入等の県内外実績を活かし水道事業者の皆様へ何かご支援できるものがないかを模索してまいりました。

そこで、この度、秋田北鹿地区での「水道事業広域連携セミナー」と称した勉強会を主催させて頂きました。水道事業者の皆様にはぜひ共にご参加頂き、業務の共同化への模索、維持管理体制や顧客管理についての共同委託など、あらゆる可能性についての一助になることを期待しております。

株式会社トータルオフィスマネジメント

専務取締役 平塚広春

福原 勝氏  
Masaru Fukuhara



株式会社日水コン  
事業統括本部  
事業戦略部 部長  
昭和46年生（48歳）

平成8年に株式会社日水コンに入社、水道事業部に所属し、計画分野のコンサルタント業務に従事、厚生労働省受託業務（国の水道ビジョン、アセットマネジメントの手引書・ツール開発等）、広域連携業務（群馬東部地域、埼玉県秩父地域、千葉県君津地域の事業統合について、計画の初期段階から統合までを支援）を担当、また、社外活動して土木学会水インフラ更新委員会の幹事・委員、水道技術研究センターの研究プロジェクトの委員、日本水道協会の平成30年度全国会議（水道研究発表会）シンポジウムの講師・パネラーを務めた。平成31年4月から事業統括本部事業戦略部に異動し、官民連携業務の企画提案に携わっている。

杉山 達範氏  
Tatsunori Sugiyama



横手市役所  
建設部都市計画課係長  
昭和45年生（50歳）  
出身校：県立横手高校  
→秋田大学鉱山学部

1993年（平成5年）横手市役所入庁、下水道課に5年、都市計画課に4年、平成14年に水道課に異動し15年在籍。平成29年、再び都市計画課へ異動し現在4年目。学生の頃から「まちづくり」に興味を持ち、都市計画を志す。大学4年に都市計画の研究室を希望したが、応募多数で抽選漏れに。やむなく、土質工学の研究室に入り、エンジニアとして道路建設会社の内定をもらう。しかし、家庭の事情で急遽、横手市役所に入庁。

市役所では、水道事業と下水道事業で20年を過ごし、管路更新工事の設計・管理、簡易水道統合事業、浄水施設のろ過方式の検討業務などを経験。その時期に外部の熱意ある「水道マン」と数多く会うことで、「水道に骨を埋める」ことを決意する。水道マン繋がりですぐに八戸圏域水道企業団出身の大久保氏と交流を深める。その中で水道事業経営の将来像を考えるようになり、その思いを水道ビジョンに反映する。フォーラム、出前授業、広域連携に向けた座談会などを企画し、ビジョンや経営戦略を推進しようとしていた矢先、都市計画課に異動となる。水道事業への復帰を希望するも、組織の都合もあり、叶わず。現在に至る。

平塚 広春  
Hiroharu Hiratsuka



株式会社  
トータルオフィスマネジメント  
専務取締役  
昭和33年生（62歳）

富士通株式会社に入社、Aターン後、昭和59年、現社長と現会社を設立。創業当初はソフトウェア開発を手掛け、自治体の電算構築プロジェクトマネージャーを長く従事、平成22年横手市水道料金等徴収業務委託の立上げ、翌23年、鹿角市水道料金等徴収業務委託の立上げ及び業務責任者として赴任、平成26年、仙北市水道料金等徴収業務委託の立上げ、本社帰還後は、水道業務委託部部長を兼務しながらスマートホン検針、見える水道料金としての「すいすいeねっと」、インターネット予約「よやくdeねっと」などをプロデュース、令和2年4月から北秋田市水道お客様センター業務責任者として従事、現在に至る。